

2023年3月期 決算説明資料



クオールホールディングス株式会社

2023年5月18日

東証プライム：証券コード 3034

The Prime Market of the Tokyo Stock Exchange
3034



INDEX

目次

- I 決算概要
- II 第一三共エスファのグループ入り
- III 成長戦略
- IV サステナビリティ経営の推進

I

決算概要

売上高は創業以来 過去最高

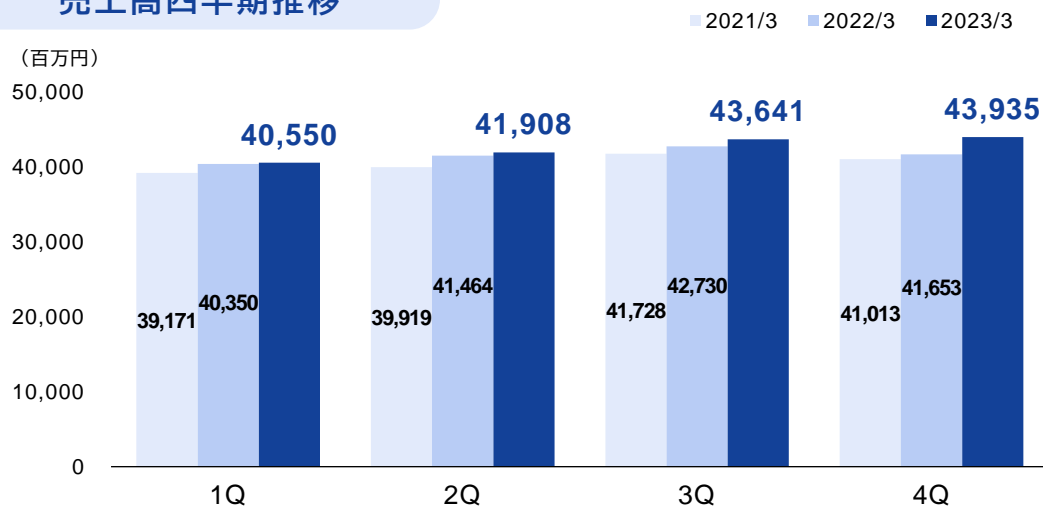
- 店舗の増加に伴い処方箋枚数も累増し売上が伸長
- 新型コロナウイルス感染症第7、8波の影響を受けつつも期末にかけて緩やかに回復
- 薬価改定および診療報酬改定の影響
- M&Aの遅れ
- 物価や資源/エネルギー価格の高騰

2023年3月期 連結業績ハイライト

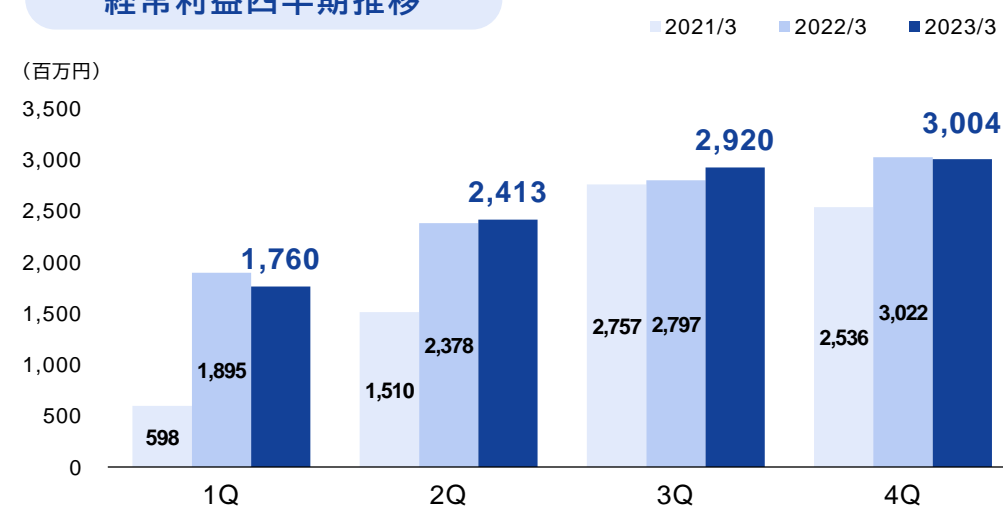


	2022/3期 実績	2023/3期 実績	前期比		達成率
			増減額	増減率(%)	
売上高	166,199	170,036	3,837	2.3%	94.5%
営業利益	9,855	9,495	△360	△3.7%	79.1%
経常利益	10,094	10,098	3	0.0%	84.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,489	5,656	166	3.0%	87.0%
1株当たり 当期純利益(円)	149.51	152.96	3.45	2.3%	84.5%

売上高四半期推移



経常利益四半期推移



連結損益計算書



(単位:百万円)	2022/3期 実績	2023/3期 実績	増減	増減率(%)
売上高	166,199	170,036	3,837	2.3%
売上原価	143,035	146,531	3,495	2.4%
売上総利益	23,163	23,504	341	1.5%
販管費	13,308	14,009	701	5.3%
営業利益	9,855	9,495	△360	△3.7%
利益率	5.9%	5.6%	—	—
経常利益	10,094	10,098	3	0.0%
利益率	6.1%	5.9%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,489	5,656	166	3.0%
利益率	3.3%	3.3%	—	—

連結貸借対照表



(単位:百万円)	2022.3.31	2023.3.31	増減
流動資産	42,296	44,214	1,917
現金及び預金	16,685	18,770	2,084
固定資産	53,682	57,689	4,006
有形固定資産	12,846	16,108	3,261
無形固定資産	33,238	33,790	552
資産合計	95,984	101,905	5,920
流動負債	35,460	36,330	869
固定負債	16,642	16,719	76
負債合計	52,103	53,049	945
有利子負債	23,290	22,983	△306
純資産	43,881	48,856	4,974
自己資本	43,835	48,808	4,972
負債純資産合計	95,984	101,905	5,920

	(単位:百万円)
流動資産	+ 1,917
現金及び預金	+ 2,084
受取手形、売掛金及び契約資産	△ 431
固定資産	+ 4,006
土地	+ 2,105
流動負債	+ 869
買掛金	+ 1,576
未払法人税等	△ 823
固定負債	+ 76
純資産	+ 4,974

自己資本比率: **47.9%**

- 手元資金の適正化
- 当貸枠等の融資枠の拡大

➡ 強固な財務基盤

➡ 変化への即応体制

キャッシュフロー計算書



(単位:百万円)	2022.3.31	2023.3.31
営業活動による キャッシュ・フロー	10,112	11,662
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,087	△ 7,013
フリーC/F	7,025	4,648
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 10,006	△ 2,569
うち配当金の支払額	△ 1,055	△ 1,092
現金・現金同等物の 増減額	△ 2,981	2,079
現金・現金同等物の 期首残高	19,498	16,516
現金・現金同等物の 期末残高	16,516	18,596

		(単位:百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	+ 11,662
税金等調整前当期純利益	+ 9,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,013
有形固定資産の取得による支出	△ 4,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,569
長期借入れによる収入	+ 9,000
長期借入金の返済による支出	△ 9,826

- ・健全な財務基盤を維持
- ・潤沢な資金調達余力を活用し
M&Aや連携を機動的に実施

(単位:百万円)	2022/3期 実績	2023/3期 実績
調剤薬局事業売上高	153,164	155,446
セグメント利益	11,865	11,499
利益率(%)	7.7%	7.4%
医療関連事業売上高	13,471	14,993
セグメント利益	1,190	1,534
利益率(%)	8.8%	10.2%

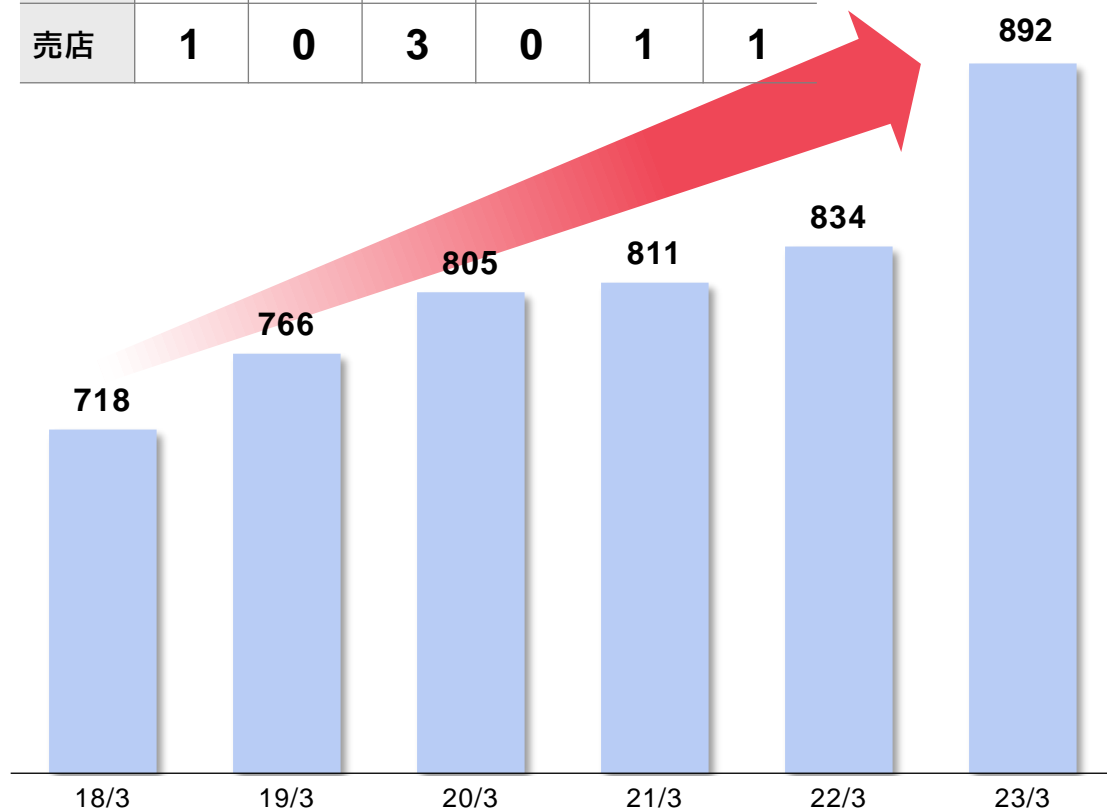
調剤薬局事業

- ・ 店舗の増加に伴い処方箋枚数も累増し売上が伸長
- ・ 在宅調剤強化による売上貢献
- ・ 薬価改定および診療報酬改定の影響
- ・ 新型コロナウイルス感染症第7、8波の影響

医療関連事業

- ・ 抗原検査キット「テガルナ®スティックSARS-CoV-2 Ag」
- ・ 医療系人材紹介派遣(薬剤師/登録販売者)の需要の回復と市場の活性化
- ・ 医薬品製造販売事業の薬価改定影響、原材料(原薬)の高騰

	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3
新店	20	17	18	16	15	21
M&A	14	50	39	18	15	48
売店	1	0	3	0	1	1



地域密着型薬局がグループ入り

■ パワーファーマシー

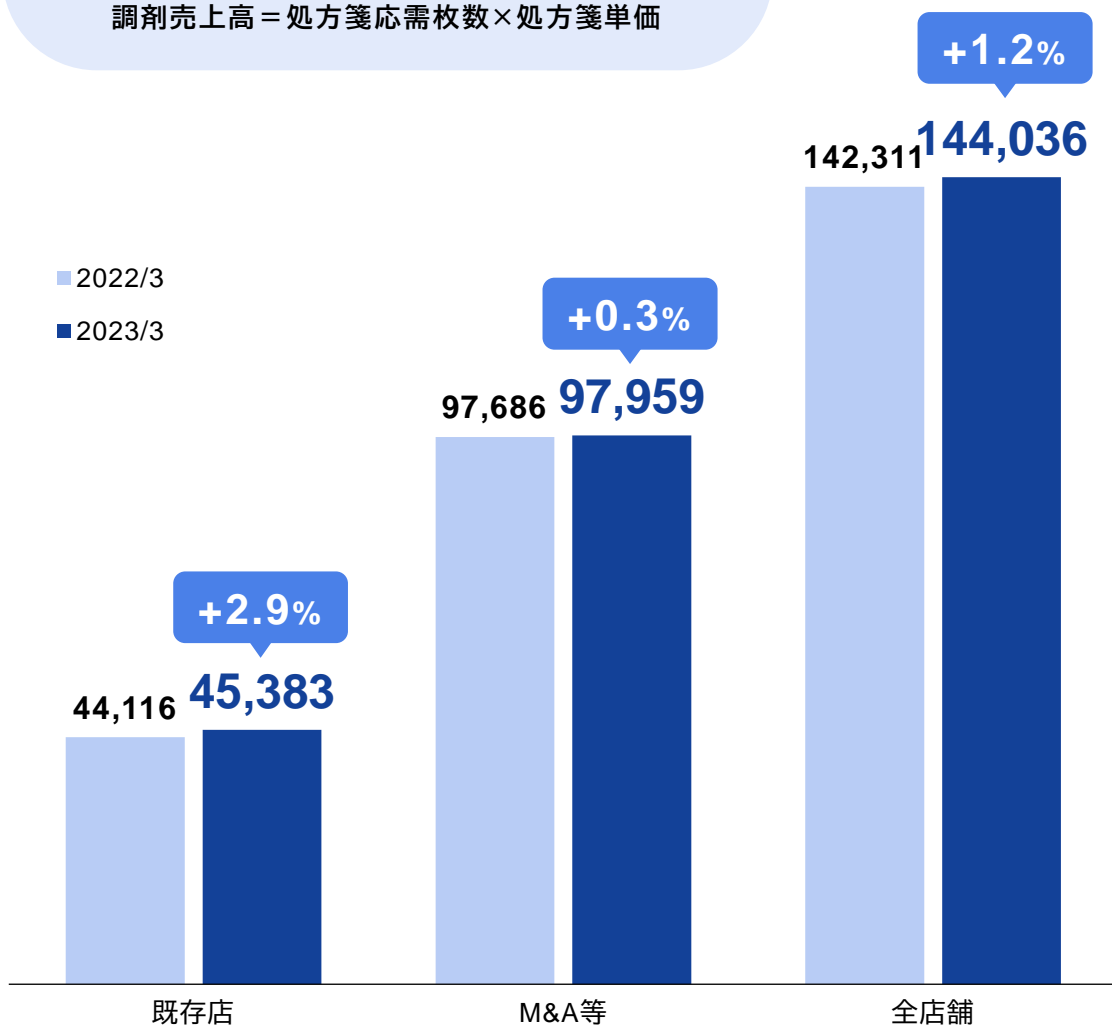
栃木県中心に38店舗グループ入り（2023年1月）



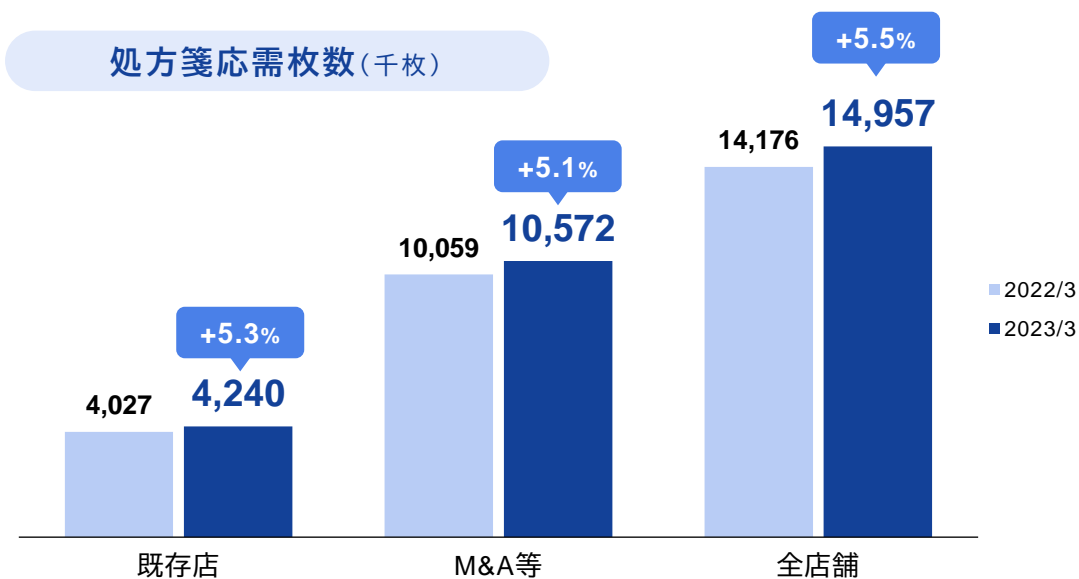
クオールグループは
栃木県でエリア最大規模となる

調剤売上高(百万円)

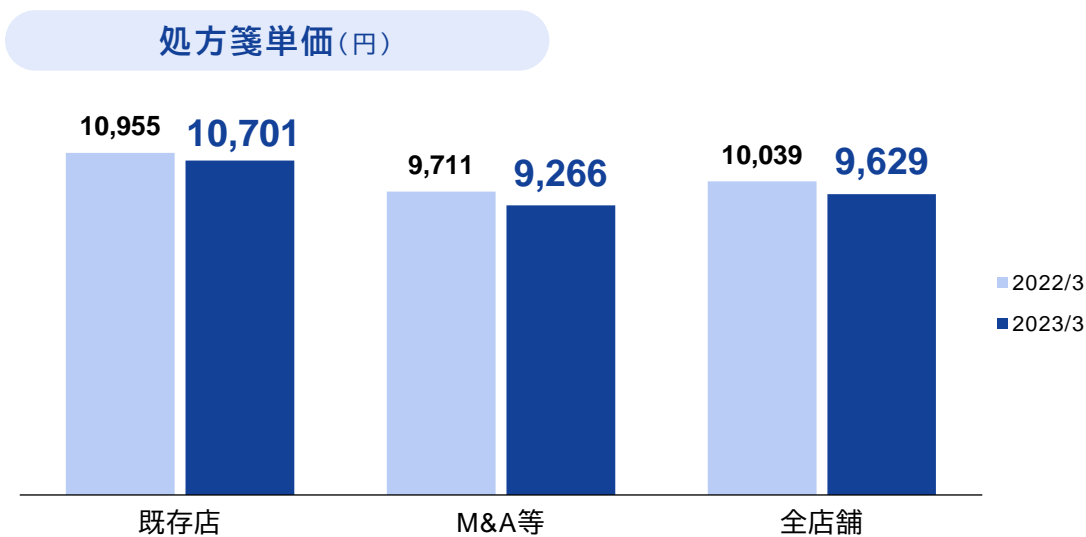
調剤売上高 = 処方箋応需枚数 × 処方箋単価



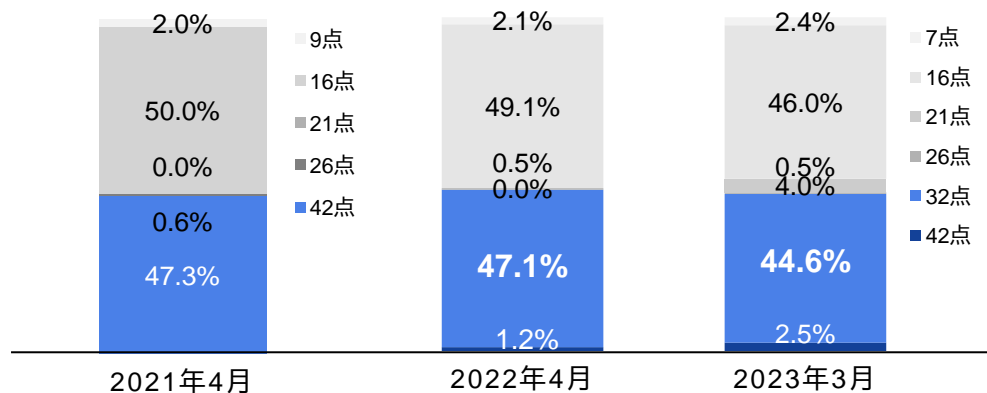
処方箋応需枚数(千枚)



処方箋単価(円)



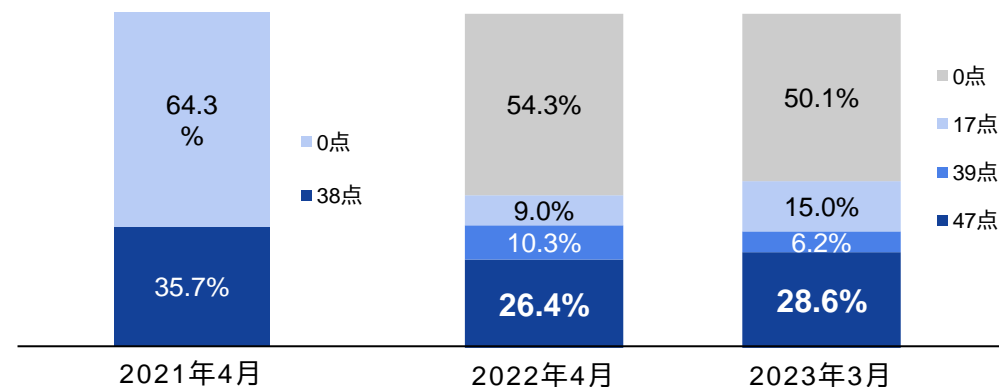
調剤基本料 店舗割合



薬局数 > 782 807 866

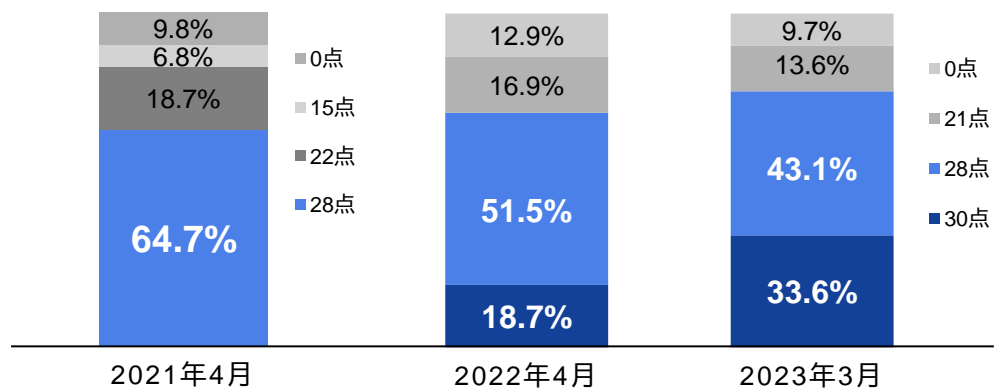
地域支援体制加算 店舗割合

(連結ベース)



薬局数 > 782 807 866

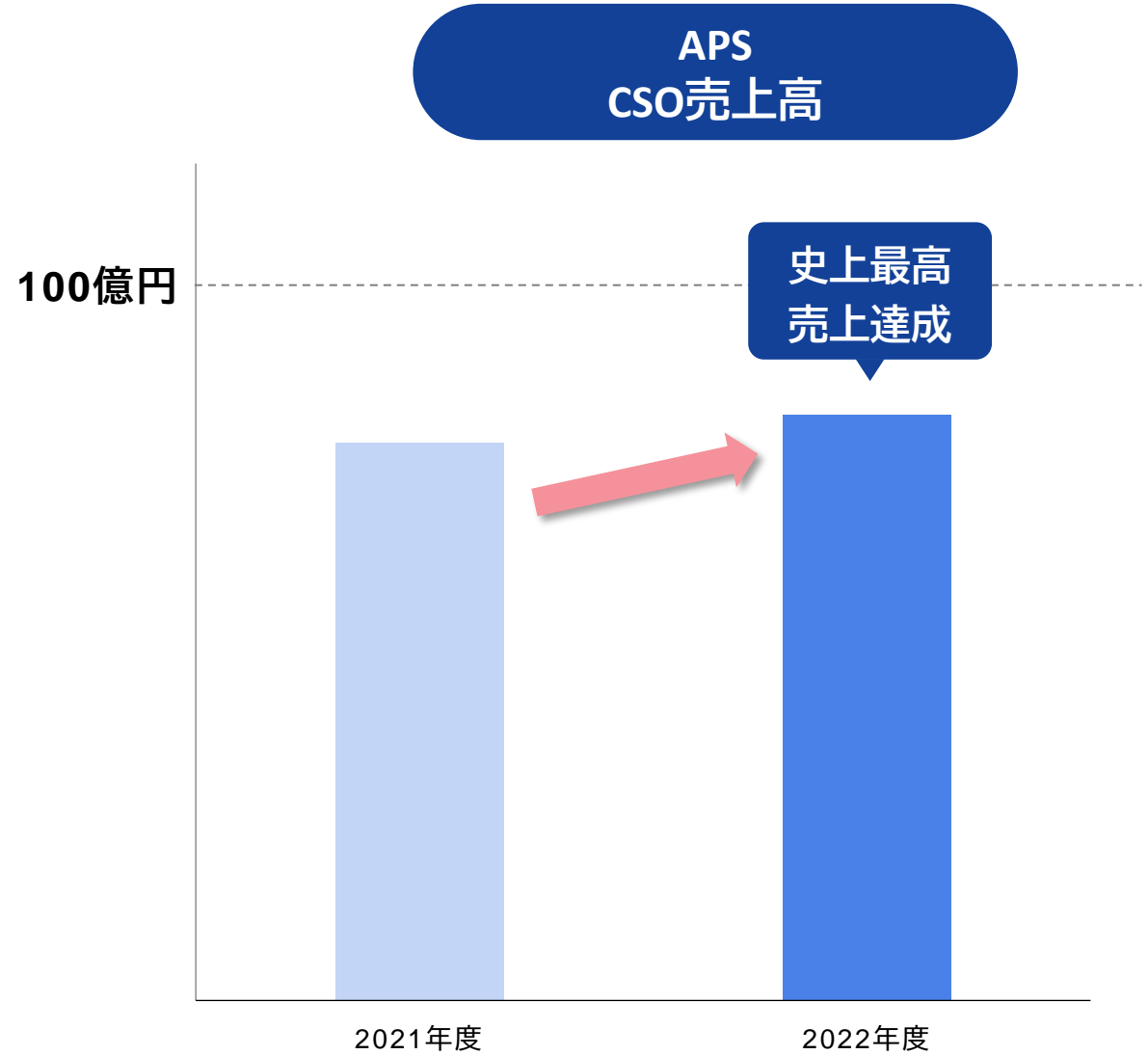
GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



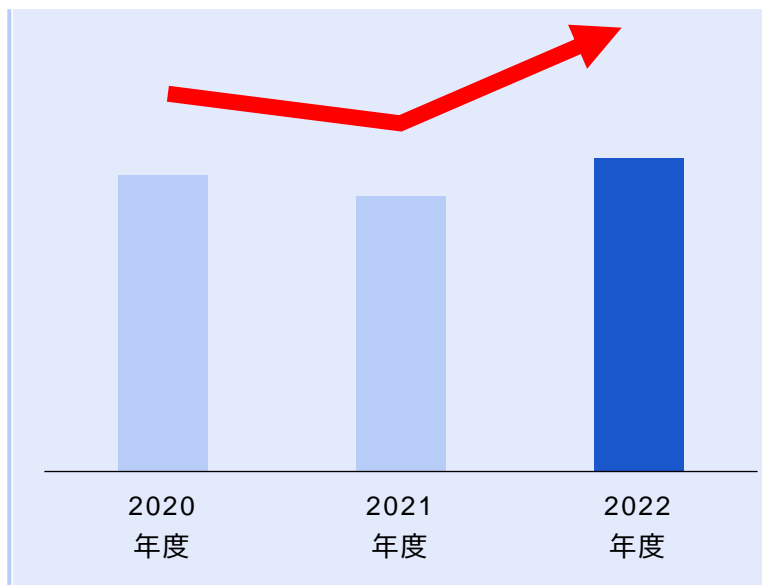
薬局数 > 782 807 866

GE変更率(数量ベース)

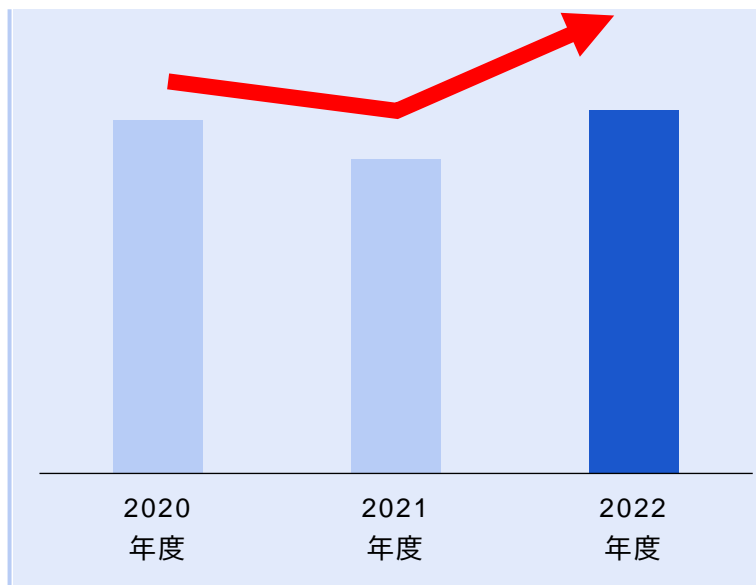
85.6%
(2023年3月)



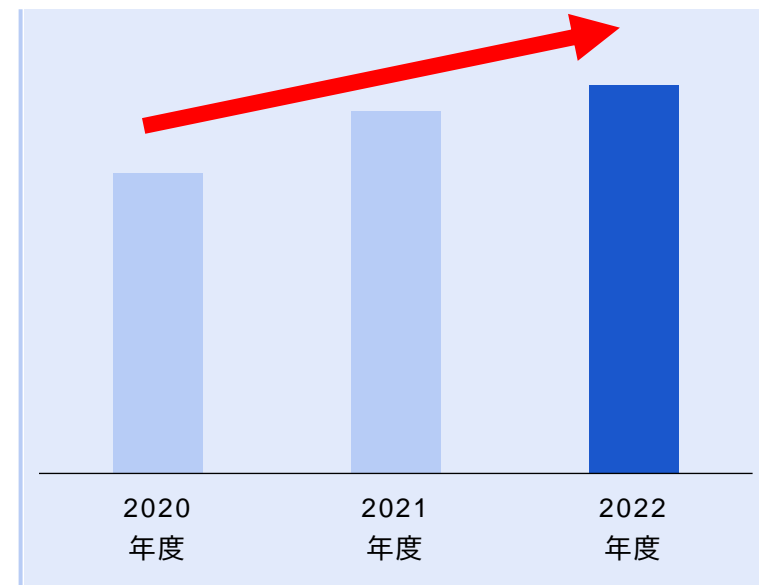
薬剤師



登録販売者



産業保健師

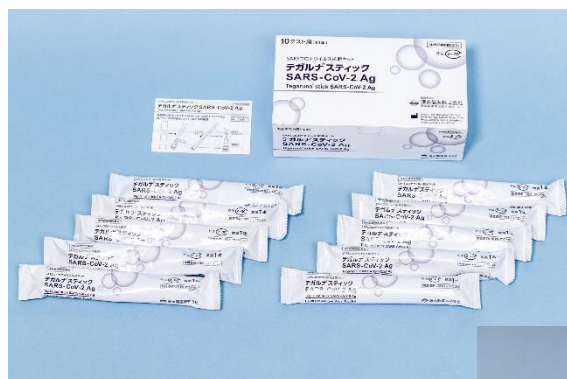


新型コロナ
影響回復

健康経営
関心高まり

- 受注機会最大化
- サービスラインナップ拡大

藤永製薬株式会社 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)抗原検査キット
「テガルナ[®]スティックSARS-CoV-2 Ag」



※関連リリースは[こちら](#)

- 2022年12月6日発売開始
 - ・ イムノクロマト法
 - ・ 1検査毎のパック包装
 - ・ 手間のいらないスティック型デバイス
- 約76万本 出荷

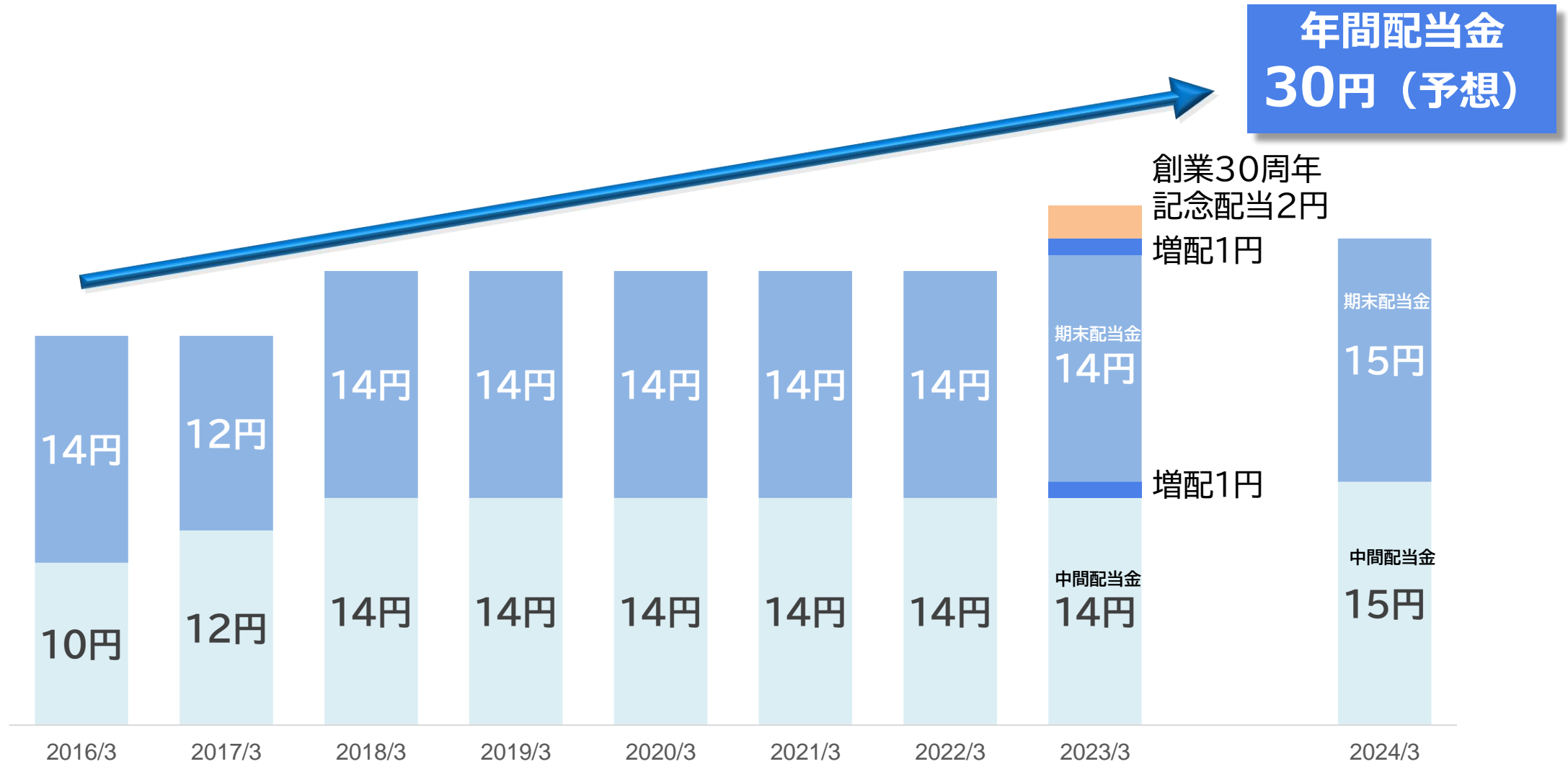
- ◆ ビジネス出張
- ◆ 学校行事

法人需要
好調継続

連結 2024年3月期 通期業績予想(2023年5月16日修正)



	2023 / 3期 実績	2024 / 3期予想		計	増減	増減率(%)
		上期	下期			
売上高	170,036	85,600	94,400	180,000	9,964	5.9%
営業利益	9,495	3,500	6,500	10,000	505	5.3%
経常利益	10,098	3,500	7,200	10,700	602	6.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,656	1,800	4,400	6,200	544	9.6%
1株当たり 当期純利益(円)	152.96	—	—	167.67	14.71	9.6%



II

第一三共エスファ のグループ入り





第一三共エスファ株式会社

【所在地】

東京都中央区日本橋本町
三丁目5番1号

【設立】

2010年4月1日

【事業内容】

医薬品製造販売

【資本金】

4.5億円（2023年3月31日現在）

【業績】 （2023年3月期）

売上高 787億円
営業利益 128億円
当期純利益 89億円

【代表者】

新堰 毅

【従業員数】

345名

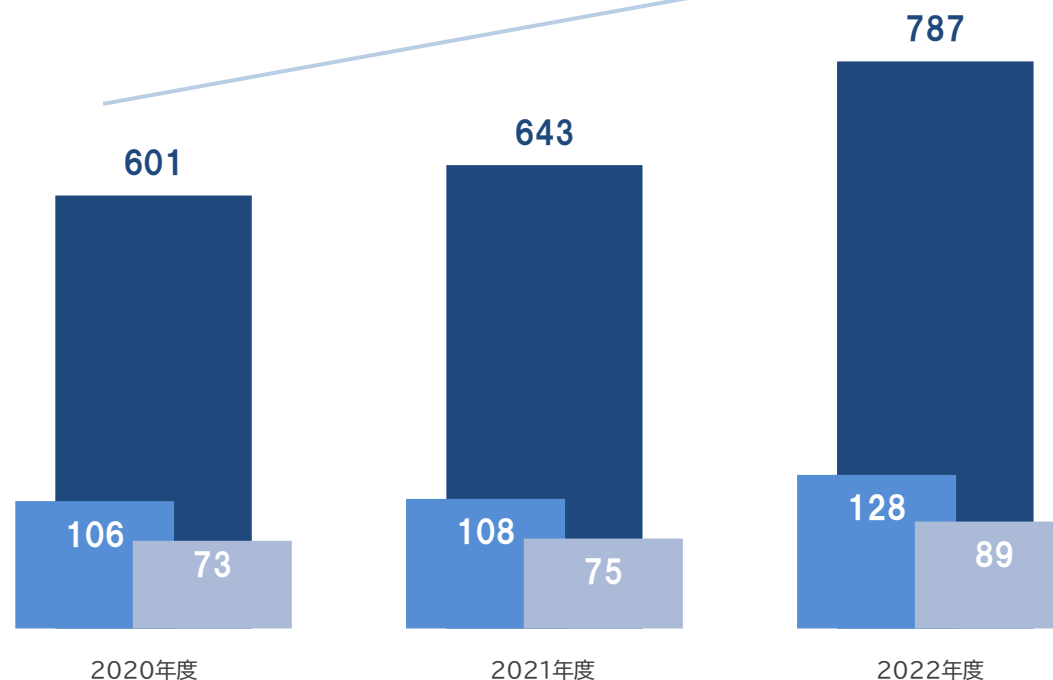
【ポジション】 （2021年度）

GE市場売上4位
（シェア6.6%）

業績年推移

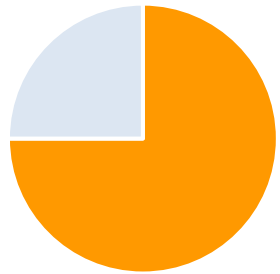
■ 売上高 ■ 営業利益
■ 当期純利益 （単位：億円）

コロナ禍でも
3期連続増収増益



特徴①

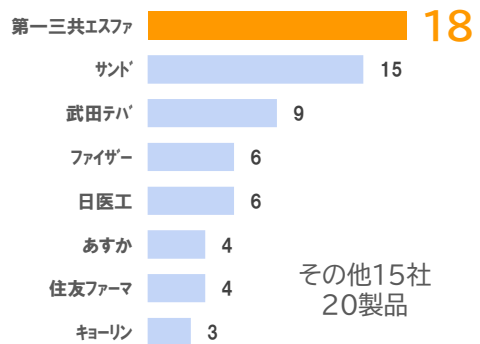
AGが強み



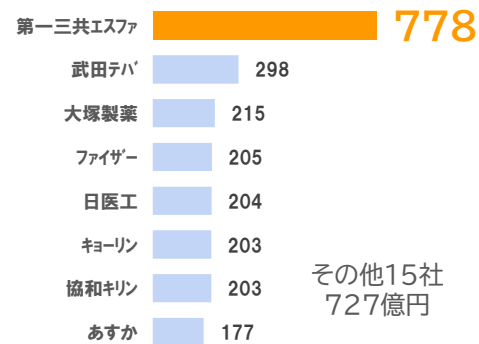
売上の
約75%がAG

AGでは業界トップ

2022年度 製品数 (単位:製品)



2022年度 販売額 (単位:億円)

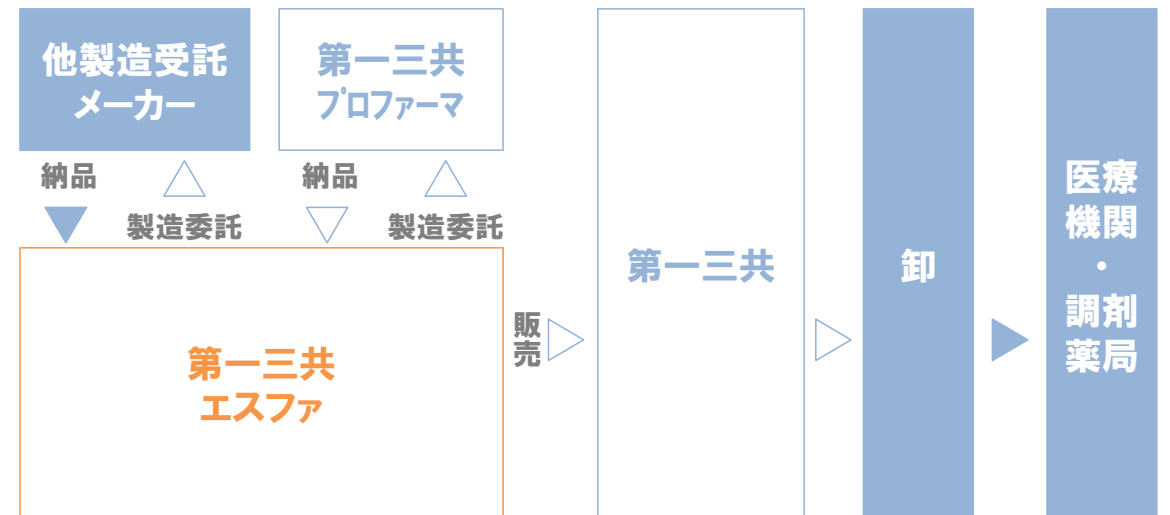


特徴②

企画と販売に特化

工場を持たずに、
企画・販売機能に特化している

■ビジネススキーム



AG(Authorized Generic : オーソライズドジェネリック)とは

Authorized

【ó:θəraɪzɪd】形

権限を与えられた、承認された、公認の



新薬メーカーから許諾を受けた
ジェネリック医薬品

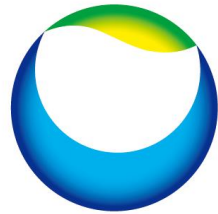
許諾を受けているため

原薬・添加物・製法等が
新薬(先発医薬品)と同一

○同一 △異なる場合あり

先発医薬品 との比較	AG	一般的なGE
有効成分	○	○
原薬	○※	△
添加物	○	△
製法	○	△
製造工場	○※	△
製造技術	○※	△

※ 異なる場合もある



Daiichi-Sankyo

第一三共エスファ株式会社



クオールホールディングス株式会社

スローガン

患者さんの笑顔、できることぜんぶ。

経営理念

医療ニーズの高いジェネリック医薬品を安心
とともにお届けすることによって、人々の健
康に貢献し、かつ信頼されるパートナーにな
ります。

スローガン

あなたの、いちばん近くにある安心

経営理念

わたしたちは、すべての人の、
クオリティ オブ ライフに向きあいます。
いつでも、どこでも、あなたに。



総合ヘルスケアカンパニー構想

大手製薬会社の信頼×大手調剤薬局の患者目線

1

医薬品に集中・特化して成長

2

中期目標の確実な達成
(売上高3000億円、営業利益250億円)

3

経営基盤の強化・安定化

■M&Aスケジュール

5/16

株式譲渡決議
契約締結

10/1

第一次株式譲渡
(30%取得)

4/1

第二次株式譲渡
(51%取得)



■資金調達について

資本コスト最適化等の観点から金融機関からの借入により資金調達を行う方向

日本の冠たる企業 総合ヘルスケアカンパニーへ

第一三共エスファのグループ入りにより

2つのエンジンで大きく成長し

総合ヘルスケアカンパニーへ

調剤

**製薬
+
医療関連**

Ⅲ

成長戦略



グループ成長戦略の全体像



総合ヘルスケアカンパニー

研究
開発



製造



販売



病院
薬局



患者
さま



第一三共エスファ株式会社



藤永製薬株式会社



メディカルクオール株式会社

APO PLUS STATION



クオール薬局グループ
Quality Of Life



アポプラスキャリア

APO PLUS STATION

調剤
売上成長・安定収益



医療関連
高収益

売上



調剤

+

医療関連



- 規模拡大
 - ・新店(10~20店)
 - ・M&A(30~70店)
- 店舗の付加価値UP
- 利便性

- 規模拡大
 - ・新製品の開発
- 派遣(固定費から変動費へ)
- デジタル紹介

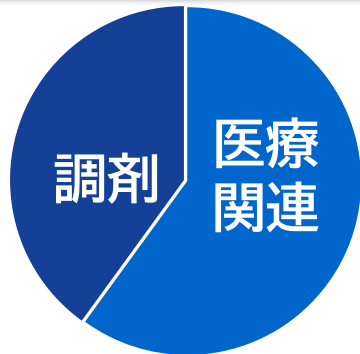
利益



調剤

+

医療関連



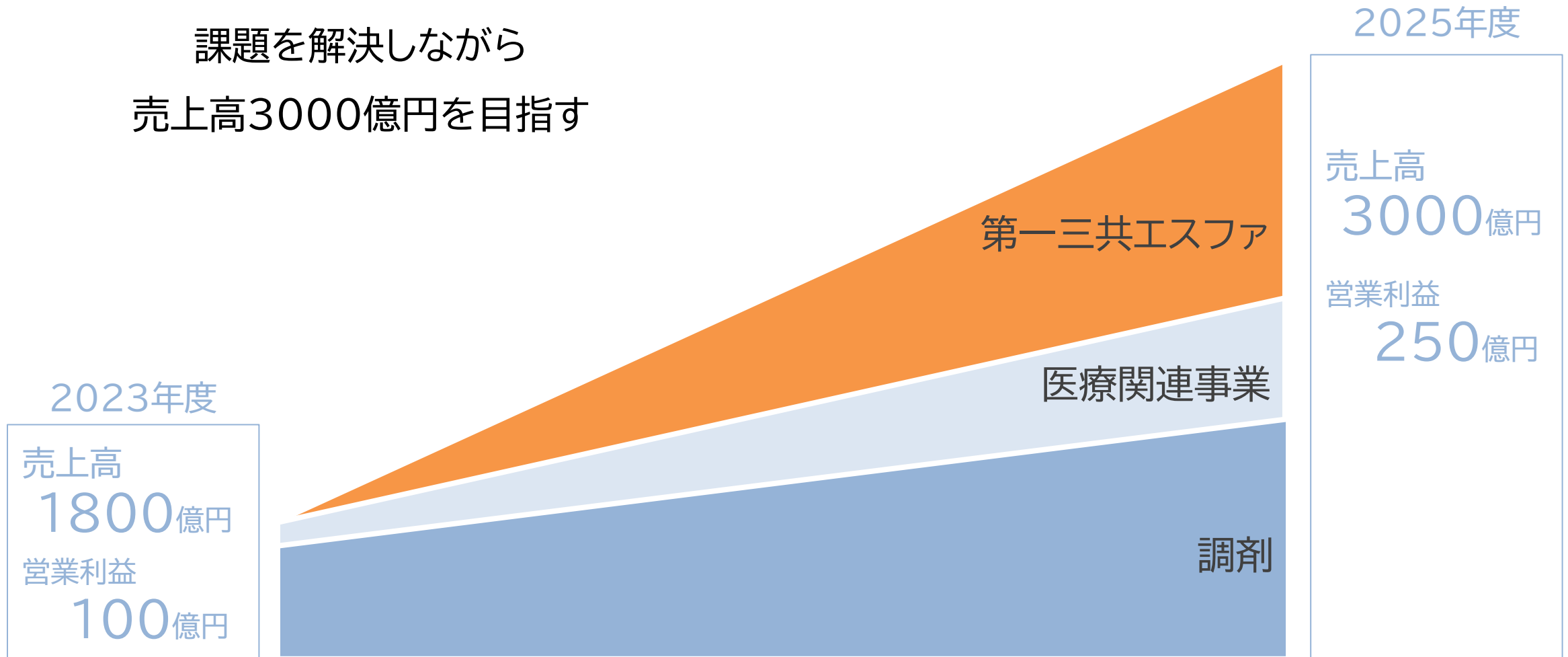
- マンツーマン薬局
 - ・在宅調剤
 - ・在庫コントロール
- デジタルを活用した生産性

- 高収益
- 高付加価値
- コスト適正化

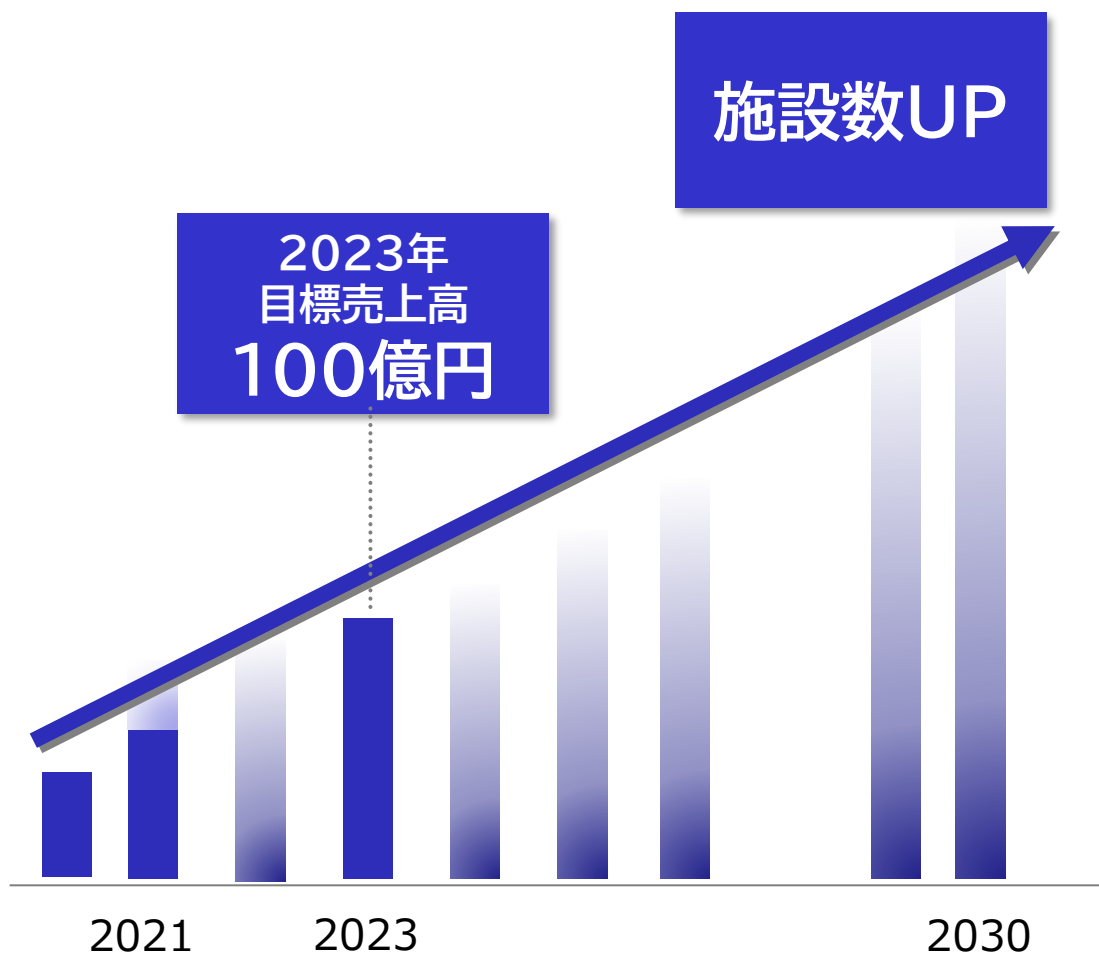
クオールグループ中期目標



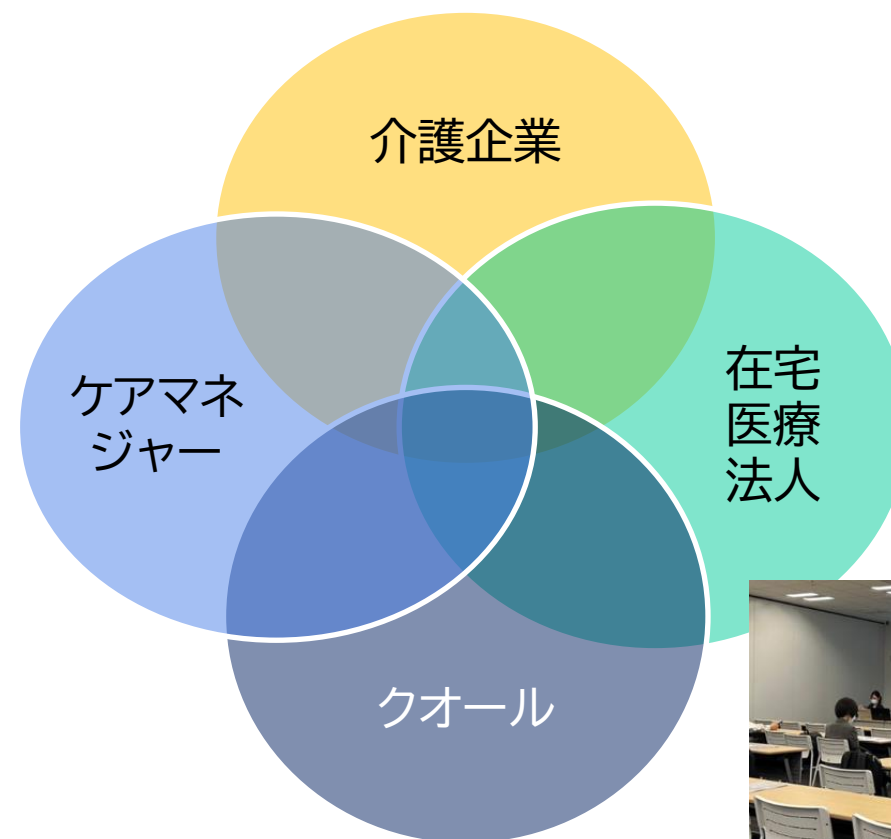
課題を解決しながら
売上高3000億円を目指す



全国約900店舗のドミナントを活かして効率的に在宅調剤事業を推進、事業拡大を図る



医療・介護の情報交換会をクオール主催で実施、企業間の連携の場を設置。施設との連携強化。





医療領域



患者さま/お客さま

予防領域



IV

サステナビリティ 経営の推進



サステナビリティ委員会

2023年4月

- サステナビリティ動向調査
- サステナビリティに係る経営戦略の立案
- 重要課題(マテリアリティ)の特定と見直し
- 進捗状況のモニタリング、達成状況の評価

サステナビリティ委員会
事務局

2023年7月

- 部門横断の組織で、幹部・中堅・若手で構成
- 多様な価値観・発想で、現状認識・将来あるべき姿につき討議

TCFD提言
賛同バリューレポート
発行2030/2050
達成目標
策定

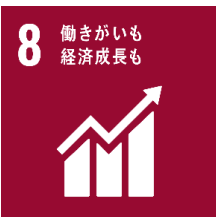
障がい者雇用の推進 業界初の特例子会社

●クオールアシスト株式会社

クオールグループの障がい者雇用の促進・発展させるために2009年に設立、保険調剤薬局業界では初の特例子会社として認定
重度身体障がい者を中心に在宅雇用を推進。

社員同士がコミュニケーションを深め、知見を共有する場として
毎年社員総会を開催するなど、やりがいを持って活躍できる職場づくりに努めている。

採用エリアは北は北海道から南は宮崎県まで広がり、
現在、50名を超える従業員が活躍している。



(オンライン社員総会の様子)



切れ目ない医療



【IRお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

TEL:03-6430-9060

FAX:03-5405-9012

E-mail:ir@qol-net.co.jp

お問い合わせページ:<https://www.qolhd.co.jp/inquiry/>

【免責事項】

本資料および参考資料の内容につきましては、株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料に将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうる場合があります。確約や保証を与えるものではありませんのでご了承ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆さまのご判断において行われますようお願いいたします。



あなたの、いちばん近くにある安心